

あの時、なぜ写真を撮らなかったのか、

反戦の思いをこめて、毎夏、前橋文学館が贈る清水邦夫戯曲のリーディング

イエスタデイ

前橋文学館リーディングシアターvol.22

2023年8月26日(土)14時*開場は30分前

主催 前橋文学館 協力 NPO法人波宜亭倶楽部

会場:前橋文学館3階ホール

定員:100名(要予約)

観覧料:500円(当日支払)

電話予約・お問合せ

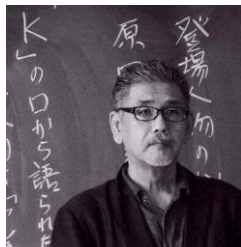
027-235-8011



作 清水邦夫
演出 荒井正人
音楽 KPC
アニメーション 白石慶子
照明・音響 前橋文学館
当日制作 中島真理子・木田恭平
制作 演劇プロデュースとろんぷ・るいゆ

出演：
川原崎晴紀（すたりあ倶楽部）
佐藤真衣
相馬 薫（すたりあ倶楽部）
田村菜穂
中村ひろみ
萩原朔美（前橋文学館館長）
東野善典
ナレーション：
高橋幸良（人形劇団やまねこ座・人形劇工房）

《あらすじ》昭和20年1月、東京から浦田家の四人きょうだいが、日本海沿いのある町の写真館に疎開してくる。迎え入れた稲葉姉弟との交流、ヘルマン・ヘッセの詩、意思の強さゆえの衝突。やがて浦田きょうだいは、別の親せきを頼りに長崎へと向かう…。



演出:荒井正人
1953年生まれ、早稲田劇研を経て劇団『葡萄舎』等で劇作・演出・俳優。共愛学園高校演劇部顧問として文化庁長官賞、文部大臣賞他。前橋演劇祭『橋屋』監修。前橋文学館リーディングシアター清水邦夫作『イエスタデイ』演出。白水社『つかこうへい実践演劇講座』執筆。



音楽:KPC
ジャズドラムの技法やアフリカ、アラブを根源としたインプロバイザーとして、様々な演奏形態や多様な楽器、時に非楽器をも用いた演奏を行っている。国重要有形民俗文化財・上三原田の歌舞伎舞台創建200年祭『夏の夜の夢』出演。



浦田源一:萩原 朔美
1946年11月、東京都生まれ。寺山修司が主宰した「天井桟敷」の旗揚げ公演で初舞台を踏む。俳優の傍ら、演出を担当し映像制作も始める。版画や写真、雑誌編集とマルチに才能を発揮する。著書多数、多摩美術大学名誉教授。2016年4月から前橋文学館館長



矢坂:川原崎晴紀
2012年児童劇団「夢への架け橋」の公演に参加し、初めて演劇に触れる。19年群馬大学演劇部に入学し、役者、舞台美術、脚本、演出を経験。21年結成の劇団「すたりあ倶楽部」のメンバーとして活動中。



浦田 雪:佐藤 真衣
青森県出身。高校から演劇を始め、群馬大学演劇部テアトル・ヒューメに所属。主に裏方を担当し、第128回公演「Make!」で演出・脚本を担当。大学在籍時は舞台表象ゼミに所属し、野田秀樹演劇を研究。



浦田 夢:相馬 薫
2003年生まれ。群馬県藤岡市出身。19年から役者として活動を開始し、21年からは「すたりあ倶楽部」に所属。13年から7年間合唱を、20年から1年間声楽を学ぶ。現在は、所属団体内外で舞台やミュージカルに出演する。



稲葉 塩子:田村 菜穂
東京都三鷹市出身。群馬県在住。<舞台>木野花ドラマスタジオ4.5.6期生、劇団唐組、2023年リーディングシアター「夜汽車の人」<映画>21年『ロボット修理人の愛』田中じゅうこう監督 看護師役、23年『世界は僕らに気づかない』飯塚花笑監督 金子洋子役



浦田 海:中村ひろみ
東京都出身。明治大学文学部演劇学科卒業。1989年より前橋市在住。演劇プロデュースとろんぶ・るいゆ主宰・役者。空間の文化と歴史を生かした作品作りを続ける。2016年vol.01以来、前橋文学館リーディングシアターの制作・演出・出演



稲葉 次郎:東野 善典
昭和52年12月30日生まれ。県内劇団にて2、3度舞台に立ち、上京し約11年間役者として活動。群馬県中学校演劇祭の審査員をさせて頂いたり、役者、演出、殺陣師、ラジオなど活動の場を広げる。



ナレーター:高橋 幸良
香川県生まれ高崎市在住の人形劇俳優。群馬県唯一のプロ人形劇団やまねこ座・人形劇工房・を主宰。まーやの家企画部長。しあわせ太鼓演出部。育英短期大学と茨城大学で非常勤講師を務めてきた。第30回JOMO童話賞最優秀賞受賞

予約方法

7/15 から前橋文学館で受付開始
027-235-8011



TEL:027-235-8011 FAX:027-235-8512
https://www.maebashibungakukan.jp
〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目 12-10



※広瀬川サンパーク(市営P城東)のご利用に際しては、駐車券に割引処理をいたします。



2023イエスタデイfacebookページ
https://www.facebook.com/2023yesterday.maebashi.reading